令和 9(2027)年度

# 東京大学入学者選抜要項

令和 8(2026)年 7 月

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

この入学者選抜要項は、東京大学が実施する令和 9(2027)年度入学者選抜の概要を紹介するものです。
出願に当たっては、該当する募集要項を必ず参照してください。

一般選抜：「令和 9(2027)年度東京大学入学者募集要項」（令和 8(2026)年 11 月中旬公表）
学校推薦型選抜：「令和 9(2027)年度東京大学学校推薦型選抜学生募集要項」（令和 8(2026)年 7 月公表）
特別選考：「2027 年度東京大学外国学校卒業学生特別選考募集要項」（令和 8(2026)年 7 月公表）
UTokyo College of Design：以下のウェブサイトにて公表（令和 8(2026)年 9 月頃公表予定）
https://design.adm.u-tokyo.ac.jp/jp/

なお、感染症等の対策に関する対応により、本学入学者選抜の実施方法等について変更等がある場合は、本学ウェブサイト等で随時発表します。詳細については、下記 URL を参照してください。
URL https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/index.html

# 目　　次


● 東京大学アドミッション・ポリシー……1

● 令和９（2027）年度一般選抜

1　選抜方式・実施期日……2

2　募集人員……2

3　出願資格……2

4　出願期間……3

5　出願……4

(1) 前期日程……4

(2) 学内併願……4

6　入学者選抜方法……4

7　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目……5

8　第２次学力試験の実施期日、出題教科・科目等、試験場及び合格者発表等……7

(1) 実施期日……7

(2) 出題教科・科目等……7

(3) 試験場……8

(4) 第１段階選抜合格者発表……8

(5) 合格者発表……9

9　障害等のある入学志願者の事前相談・受験上の配慮申請……9

10　資料の発表……9

(1) 学力試験における最高点・最低点及び平均点……9

(2) 学力試験における個人別成績通知……9

(3) 面接の評価……9

11　科類と進学……9

(1) 前期課程教育……9

(2) 前期課程の教育研究上の目的……9

(3) 前期課程における科類の特徴……10

(4) 後期課程への進学……10

(5) 後期課程の学部・学科等……11

(6) 後期課程の各学部の教育研究上の目的……13

別紙１　令和９（2027）年度東京大学入学者選抜方法等……15

別紙２　令和９（2027）年度東京大学入学者選抜（一般選抜）前期日程試験の実施教科・科目等について……18

別紙３　令和９（2027）年度学校推薦型選抜……20

別紙４　令和９（2027）年度東京大学入学者選抜（学校推薦型選抜）の大学入学共通テストの利用教科・科目について ……21

別紙５　2027 年度外国学校卒業学生特別選考……23

別紙６　令和９(2027)年度 UTokyo College of Design 入学者選抜……27

別紙７　令和９(2027)年度 UTokyo College of Design 入学者選抜の大学入学共通テストの利用教科・科目について……30

参　考　令和 10（2028）年度以降の東京大学入学者選抜の実施方法等について……32

○　入学者募集要項等の入手方法……33

○　入学者選抜等に関する照会先……35

# 東京大学アドミッション・ポリシー

## 東京大学の使命と教育理念

1877 年に創立された我が国最初の国立大学である東京大学は、国内外の様々な分野で指導的役割を果たしうる「世界的視野をもった市民的エリート」（東京大学憲章）を育成することが、社会から負託された自らの使命であると考えています。このような使命のもとで本学が目指すのは、自国の歴史や文化に深い理解を示すとともに、国際的な広い視野を持ち、高度な専門知識を基盤に、問題を発見し、解決する意欲と能力を備え、市民としての公共的な責任を引き受けながら、強靭な開拓者精神を発揮して、自ら考え、行動できる人材の育成です。

そのため、東京大学に入学する学生は、健全な倫理観と責任感、主体性と行動力を持っていることが期待され、前期課程における教養教育（リベラル・アーツ教育）から可能な限り多くを学び、広範で深い教養とさらに豊かな人間性を培うことが要求されます。この教養教育において、どの専門分野でも必要とされる基礎的な知識と学術的な方法が身につくとともに、自分の進むべき専門分野が何であるのかを見極める力が養われるはずです。本学のカリキュラムは、このように幅広く分厚い教養教育を基盤とし、その基盤と有機的に結びついた各学部・学科での多様な専門教育へと展開されており、そのいずれもが大学院や研究所などで行われている世界最先端の研究へとつながっています。

## 期待する学生像

東京大学は、このような教育理念に共鳴し、強い意欲を持って学ぼうとする志の高い皆さんを、日本のみならず世界の各地から積極的に受け入れたいと考えています。東京大学が求めているのは、本学の教育研究環境を積極的に最大限活用して、自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していこうとする意志を持った学生です。何よりもまず大切なのは、上に述べたような本学の使命や教育理念への共感と、本学における学びに対する旺盛な興味や関心、そして、その学びを通じた人間的成長への強い意欲です。そうした意味で、入学試験の得点だけを意識した、視野の狭い受験勉強のみに意を注ぐ人よりも、学校の授業の内外で、自らの興味・関心を生かして幅広く学び、その過程で見出されるに違いない諸問題を関連づける広い視野、あるいは自らの問題意識を掘り下げて追究するための深い洞察力を真剣に獲得しようとする人を東京大学は歓迎します。

## 入学試験の基本方針

したがって、東京大学の入試問題は、どの問題であれ、高等学校できちんと学び、身につけた力をもってすれば、決してハードルの高いものではありません。期待する学生を選抜するために実施される本学の学部入学試験は、以下の三つの基本方針に支えられています。

第一に、試験問題の内容は、高等学校教育段階において達成を目指すものと軌を一にしています。

第二に、入学後の教養教育に十分に対応できる資質として、文系・理系にとらわれず幅広く学習し、国際的な広い視野と外国語によるコミュニケーション能力を備えていることを重視します。そのため、文科各類の受験者にも理系の基礎知識や能力を求め、理科各類の受験者にも文系の基礎知識や能力を求めるほか、いずれの科類の受験者についても、外国語の基礎的な能力を要求します。

第三に、知識を詰めこむことよりも、持っている知識を関連づけて解を導く能力の高さを重視します。

東京大学は、志望する皆さんが以上のことを念頭に、高等学校までの教育からできるだけ多くのことを、できるだけ深く学ぶよう期待します。

※UTokyo College of Design （令和 9（2027）年 9 月開設予定）については、アドミッションポリシーを 2026 年 9 月頃、以下のウェブサイトで公表予定です。 https://design.adm.u-tokyo.ac.jp/jp/

# 令和 9(2027)年度一般選抜

感染症等の対策に関する対応により、本学入学者選抜の実施方法等について変更等がある場合は、本学ウェブサイト等で随時発表します。詳細については、下記 URL を参照してください。
URL https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/index.html

## 1　選抜方式・実施期日

**本学の一般選抜は、「分離分割方式」（前期日程）により実施します。**
**個別学力検査等（第 2 次学力試験）の実施期日は、次のとおりです。**

**前期日程　　令和 9(2027)年 2 月 25 日（木）・26 日（金）・27 日（土）（27 日（土）は理科三類のみ）**

志願者は、分離分割方式により入学試験を行う国公立大学・学部(注)のうち、「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。したがって「前期―後期」の併願は認められますが、「前期―前期」、「後期―後期」の併願は認められません。

この際、「前期日程」の試験に合格し、3 月 15 日までに入学手続を行った者は、「後期日程」に出願済であってこれを受験した場合でもその合格者とはなりません。

(注)　独自の日程で入学者選抜を行う公立大学・学部については、公立大学協会ウェブサイト（https://www.kodaikyo.org/）参照。

## 2　募集人員

令和 9(2027)年度において、教養学部に入学を許可する学生の募集人員は、次のとおりです。

| | | 前期日程（人） |
|---|---|---|
| 教養学部 | 文　科　一　類 | 387 |
| | 文　科　二　類 | 341 |
| | 文　科　三　類 | 453 |
| | 理　科　一　類 | 1,071 |
| | 理　科　二　類 | 514 |
| | 理　科　三　類 | 92 |
| 合計 | | 2,858 |

## 3　出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和 9 年度大学入学共通テストのうち、本学が定める教科・科目の全てを受験した者（5～6 ページ参照）

なお、本学では大学入学共通テストの過年度の成績は利用しないので、令和 9 年度大学入学共通テストを必ず受験してください。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9(2027)年 3 月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当するもの及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みのもの

ア　外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修

了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者

ウ　専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者

エ　文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年 5 月 31 日文部省告示第 47 号）

オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9(2027)年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

カ　学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和四年文部科学省令第十八号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者

キ　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9(2027)年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの

※　①　令和 9 年度大学入学者選抜大学入学共通テスト受験案内（出願資格）参照

②　上記キに該当する者とは、上記（1）、（2）及び（3）ア～カに該当しない者のうち、「外国人を対象に教育を行うことを目的にして我が国に設置された教育施設において高等学校に対応する 3 年に相当する学習歴を有するもの又は有する見込みのあるもの」で、申請者から提出された申請書類に基づき、本学の個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものとします。

③　上記キで出願しようとする者は出願前に個別の入学資格審査を行うので、令和 8(2026)年 8 月 28 日（金）（消印有効）までに、次の申請書類に返信用封筒（長形 3 号（縦 23.5cm、横 12.0cm）に郵便番号、住所、氏名を記載し 460 円分（簡易書留）の切手貼り付け）を添えて、本学入試事務室に書留速達郵便（封筒の表に「入学資格認定申請書類」と朱書）で申請してください。

ただし、令和 9 年度大学入学共通テストを受験した者で、新たに本学の受験を希望するものに限って、令和 9(2027)年 1 月 25 日（月）～1 月 27 日（水）（必着）の間、申請を受け付けます。

（申請書類）

・入学資格認定申請書（本学が定める様式：下記本学ウェブサイト参照）
https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/adm-data/e01_02_02.html

・教育施設長発行（厳封）の卒業証明書又は卒業見込証明書

・教育施設の概要（教育施設の概要が明記された学校案内等）

・教育施設の規則（教科目、授業時間数及び卒業要件の明記されたもの）

（申請書類提出先・照会先）

〒113-8654　東京都文京区本郷 7 丁目 3 番 1 号　東京大学入試事務室

電子メール　nyuusi1.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

## 4　出願期間

前期日程の出願期間は次の期間とします。

**令和 9(2027)年 1 月 25 日（月）～令和 9(2027)年 2 月 3 日（水）**

## 5　出願

出願は次のとおり取り扱います。

(1) 前期日程

文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類のうちから一つの科類に出願することができます。なお、複数の科類に出願した場合は、いずれの科類についても受験を認めません。

(2) 学内併願

**学校推薦型選抜の合格者は、令和 9(2027)年 2 月 17 日（水）までに入学手続を行った場合、前期日程を受験してもその合格者とはなりません。**

**また、外国学校卒業学生特別選考又は UTokyo College of Design に出願した場合（出願後、出願資格がないと判断された者は除く。）は、前期日程の出願を認めません。**

## 6　入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力試験（大学入学共通テスト及び第 2 次学力試験）及び調査書によります。

入学志願者が各科類の募集人員に対して次の倍率に達した場合は、大学入学共通テストの成績により第 1 段階選抜を行い、第 1 段階選抜合格者に対して第 2 次学力試験を行います。

文科一類　約 2.5 倍　　文科二類　約 2.5 倍　　文科三類　約 2.5 倍

理科一類　約 2.3 倍　　理科二類　約 3.0 倍　　理科三類　約 2.8 倍

学力試験の成績は、大学入学共通テストの成績（配点 110 点 : 1000 点満点を 110 点に換算します。）と第 2 次学力試験の成績（配点 440 点）とを総合（550 点満点）して算出します。

また、理科三類入学者の選抜においては、上記に加え、面接の結果を含めて総合的に判定し、将来、医療や医学研究に従事するのにふさわしい資質を持った受験者を、合格者とします。したがって、学力試験の得点にかかわらず不合格となることがあります。なお、面接では、医学への適性（医学への意欲、論理性、倫理性、コミュニケーション能力等）を評価します。

なお、配点等についての詳細は、別紙 2（18～19 ページ）のとおりです。

## 7　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

文科各類・・・（ 6 教科 8 科目又は 7 教科 8 科目〔配点合計 1000 点〕 ）

| 教　科 | 科　目 | 科目選択の方法 | 配　点 |
|---|---|---|---|
| 国　語 | 『国語』 | 必　須 | 200 点 |
| 地理歴史 | 『地理総合，地理探究』<br>『歴史総合，日本史探究』<br>『歴史総合，世界史探究』 | 左の 5 科目のうちから 2 科目を選択<br>ただし、『公共，倫理』及び『公共，政治・経済』の２科目を選択することはできません。公民から１科目選択する際は、地理歴史から１科目選択してください。 | 200 点 |
| 公　民 | 『公共，倫理』<br>『公共，政治・経済』 | | |
| 数　学 | 『数学Ⅰ，数学 A』 | 必　須 | 200 点 |
| | 『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』 | 必　須 | |
| 理　科 | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』<br><br>『物理』<br>『化学』<br>『生物』<br>『地学』 | 左の基礎を付した科目を選択（４つの出題範囲から２つを選択解答）<br>ただし、「基礎を付していない科目」を２科目選択した場合には、「基礎を付した科目」を選択したものとみなします。(注 1)<br>なお、理科の時間において「基礎を付した科目」を含め２科目選択した場合は、第１解答科目の成績を合否判定に利用します。(注 2) | 100 点 |
| 外 国 語 | 『英語』<br>『ドイツ語』<br>『フランス語』<br>『中国語』<br>『韓国語』 | 左の 5 科目のうちから 1 科目を選択 | 200 点<br>(注 3) |
| 情　報 | 『情報Ⅰ』 | 必　須 | 100 点 |

(注 1) (1)「基礎を付した科目」とは、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指します。
(2)「基礎を付していない科目」とは、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』を指します。
(3) **第１解答科目**として、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』と、**第２解答科目**として、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の４科目の中から１科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」を利用します。（注２も参照のこと）
(4)『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の 4 科目の中から 2 科目選択した場合には、合計得点（200 点満点）を 100 点満点に換算して利用します。なお、「基礎を付していない科目」を選択した場合の教科・科目の合計数は、６教科９科目又は７教科９科目となります。

(注 2) 「理科」の試験時間に２科目を受験した場合において、前半の 60 分間で解答した科目を第１解答科目、後半の 60 分間で解答した科目を第２解答科目といいます。（詳細は、大学入試センターWeb サイト https://www.dnc.ac.jp/等を参照してください。）

**なお、「理科」の試験時間において「基礎を付した科目」と、「基礎を付していない科目」のいずれかを選択する場合には、「基礎を付した科目」を第１解答科目にて選択してください。**
**たとえ、第２解答科目で「基礎を付した科目」を受験しても第２次学力試験を受験できません。**

(注3) 外国語の『英語』は「リーディング」100点と「リスニング」100点、計200点満点を「リーディング」140点満点、「リスニング」60点満点に換算して利用します。(※)
(※) 聴覚障害等により「リスニング」を免除された者は、「リーディング」を200点満点に換算し、『英語』以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

理科各類・・・（ 6教科8科目〔配点合計1000点〕 ）

| 教　科 | 科　目 | 科目選択の方法 | 配　点 |
|---|---|---|---|
| 国　語 | 『国語』 | 必　須 | 200点 |
| 地理歴史 | 『地理総合，地理探究』<br>『歴史総合，日本史探究』<br>『歴史総合，世界史探究』 | 左の5科目のうちから1科目を選択<br>なお、地理歴史及び公民の試験時間において2科目を受験した場合には、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。(注1) | 100点 |
| 公　民 | 『公共，倫理』<br>『公共，政治・経済』 | | |
| 数　学 | 『数学Ⅰ，数学A』 | 必　須 | 200点 |
| | 『数学Ⅱ，数学B，数学C』 | 必　須 | |
| 理　科 | 『物理』<br>『化学』<br>『生物』<br>『地学』 | 左の4科目のうちから2科目を選択 | 200点 |
| 外国語 | 『英語』<br>『ドイツ語』<br>『フランス語』<br>『中国語』<br>『韓国語』 | 左の5科目のうちから1科目を選択 | 200点<br>(注2) |
| 情　報 | 『情報Ⅰ』 | 必　須 | 100点 |

(注1) 「地理歴史，公民」の試験時間に2科目を受験した場合において、前半の60分間で解答した科目を**第1解答科目**、後半の60分間で解答した科目を**第2解答科目**といいます。(詳細は、大学入試センターウェブサイト https://www.dnc.ac.jp/等を参照してください。)
**なお、第1解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第2解答科目で本学が指定する科目を受験した場合でも、第2次学力試験を受験できません。**
(注2) 外国語の『英語』は「リーディング」100点と「リスニング」100点、計200点満点を「リーディング」140点満点、「リスニング」60点満点に換算して利用します。(※)
(※) 聴覚障がい等により「リスニング」を免除された者は、「リーディング」を200点満点に換算し、『英語』以外の外国語を選択した者は、筆記（200点満点）の成績を利用します。

## 8　第 2 次学力試験の実施期日、出題教科・科目等、試験場及び合格者発表等

(1) 実施期日

| 科　　類 | 試　験　日 | 時　　間 | 教 科 等 |
|---|---|---|---|
| 文科一類<br>文科二類<br>文科三類 | 令和 9(2027)年 2 月 25 日（木） | 9：30～12：00（150 分） | 国　　語 |
| | | 14：00～15：40（100 分） | 数　　学 |
| | 令和 9(2027)年 2 月 26 日（金） | 9：30～12：00（150 分） | 地理歴史 |
| | | 14：00～16：00（120 分） | 外 国 語 |
| 理科一類<br>理科二類<br>理科三類 | 令和 9(2027)年 2 月 25 日（木） | 9：30～11：10（100 分） | 国　　語 |
| | | 14：00～16：30（150 分） | 数　　学 |
| | 令和 9(2027)年 2 月 26 日（金） | 9：30～12：00（150 分） | 理　　科 |
| | | 14：00～16：00（120 分） | 外 国 語 |
| 理科三類 | 令和 9(2027)年 2 月 27 日（土） | 9：00～16：00 頃 | 面　　接 |

(2) 出題教科・科目等

| 科　　類 | 教　　科 | 科　　目 |
|---|---|---|
| 文科一類<br>文科二類<br>文科三類 | 国　　語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究 |
| | 数　　学 | 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C (注) |
| | 地理歴史 | 「日本史探究」、「世界史探究」、「地理探究」の 3 科目のうち、あらかじめ出願の際に届け出た 2 科目 |
| | 外 国 語 | (1) 英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）<br>**※　一部マークシートに解答する問題があります。また、英語試験の一部分に聞き取り試験（30 分程度）を行います。**<br>(2) ドイツ語<br>(3) フランス語<br>(4) 中国語<br>のうち、あらかじめ出願の際に届け出た 1 外国語<br>ただし、英語の選択者に限り、英語の問題の一部分に代えて、他の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語）のうちから一つの外国語を試験場において選択することができます。<br>なお、ここで選択できる外国語のうち、ドイツ語、フランス語、中国語の問題は、出願時に当該外国語を選択した者が解答する問題の一部分と同じものです。 |

(注) 数学の出題範囲は次のとおりです。
数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲から、数学Bは「数列」、「統計的な推測」から、数学Cは「ベクトル」から出題します。

| 科　　類 | 教 科 等 | 科　　目　　等 |
|---|---|---|
| 理科一類<br>理科二類<br>理科三類 | 国　　語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究 |
| | 数　　学 | 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C（注1） |
| | 理　　科 | 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の4科目のうち、あらかじめ出願の際に届け出た2科目（注2） |
| | 外 国 語 | (1) 英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）<br>**※　一部マークシートに解答する問題があります。また、英語試験の一部分に聞き取り試験（30分程度）を行います。**<br>(2) ドイツ語<br>(3) フランス語<br>(4) 中国語<br>のうち、あらかじめ出願の際に届け出た1外国語<br>ただし、英語の選択者に限り、英語の問題の一部分に代えて、他の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語）のうちから一つの外国語を試験場において選択することができます。<br>なお、ここで選択できる外国語のうち、ドイツ語、フランス語、中国語の問題は、出願時に当該外国語を選択した者が解答する問題の一部分と同じものです。 |
| 理科三類 | 面　　接 | 個人面接（注3） |

（注1）数学の出題範囲は次のとおりです。
数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から、数学Bは「数列」、「統計的な推測」から、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

（注2）理科の出題範囲は次のとおりです。
「物理基礎・物理」は、物理基礎、物理の全範囲から出題します。
「化学基礎・化学」は、化学基礎、化学の全範囲から出題します。
「生物基礎・生物」は、生物基礎、生物の全範囲から出題します。
「地学基礎・地学」は、地学基礎、地学の全範囲から出題します。

（注3）複数の面接担当教員による面接を行い、その評価を参考にして、場合によっては、２次面接を行うことがあります。

(3) 試験場

〔文科各類〕　東京大学駒場Ⅰキャンパス（東京都目黒区駒場）

〔理科各類〕　東京大学本郷キャンパス（東京都文京区本郷）

詳細は、入学者募集要項（11月中旬公表）を参照してください。

(4) 第1段階選抜合格者発表

令和9(2027)年2月10日（水）

本学ウェブサイトで、第1段階選抜合格者の大学入学共通テスト「試験場コード」及び「受験番号」を発表します。詳細は、入学者募集要項（11月中旬公表）を参照してください。

(5) 合格者発表

令和 9(2027)年 3 月 10 日（水）

令和 9(2027)年 3 月 10 日（水）12：00 頃、合格者の第 2 次学力試験受験番号を本学ウェブサイトに掲載します。

なお、電話等による合否の問合せには、一切応じません。

詳細は、入学者募集要項（11 月中旬公表）を参照してください。

## 9　障害等のある入学志願者の事前相談・受験上の配慮申請

本学では、障害等のある者が、受験上及び修学上不利になることがないよう、合理的な配慮を行っており、そのための相談を受け付けています。

受験上の配慮の申請については、下記の要領を参照し、令和 8(2026)年 11 月 20 日（金）までに申請してください。点字、代筆に係る配慮の申請は 9 月 30 日（水）までに申請してください

事前の配慮準備の関係で、申請が遅くなるほど、実際に提供できる受験上の配慮が限定されていきますので、早急に申請を行ってください。

申請が行われたのち、障害等の程度に応じた合理的配慮に向けて検討・調整を行いますが、すべてのご希望に添えるとは限りませんので予めご承知おきください。

連絡相談先：電子メール　nyuusi1.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

受験上の配慮申請要領：　https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400300451.pdf

## 10　資料の発表

(1) 学力試験における最高点・最低点及び平均点

合格者の学力試験における科類別の最高点・最低点及び平均点は、合格者発表時に本学ウェブサイトで発表します。なお、詳細は、入学者募集要項（11 月中旬公表）を参照してください。

(2) 学力試験における個人別成績通知

学力試験での個人別成績は、第 2 次学力試験科目別得点・総得点等を通知します。詳細は、入学者募集要項（11 月中旬公表）を参照してください。

(3) 面接の評価

面接の評価については、開示しません。

## 11　科類と進学

(1) 前期課程教育

本学に入学を許可された学生は、教養学部に所属して前期課程 2 年間の学修をします。（前期課程の修業年限は 2 年です。）

そのうち初めの 1 年半は、文科一類・文科二類・文科三類・理科一類・理科二類・理科三類の六つの類に分かれ、リベラル・アーツ教育によって幅広く深い教養と豊かな人間性を培うとともに、後期課程の専門教育に必要な基礎的な知識と方法を学びます。後の半年は、進学が内定した学部・学科での学修の基礎となるべき専門教育科目を主として学びます。

(2) 前期課程の教育研究上の目的

特定の専門分野に偏らない総合的な視野を獲得させるリベラル・アーツ教育を行い、同時に専門課程に進むために必要な知識や知的技能を身につけ、専門的なものの見方や考え方の基本を学びとらせることを目的とします。

(3) 前期課程における科類の特徴

文科一類： 法と政治を中心にして社会科学全般の基礎を学び、関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と社会について広い見識を養います。

文科二類： 経済を中心にして社会科学全般の基礎を学び、関連する人文科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と組織について広い見識を養います。

文科三類： 言語、思想、歴史を中心にして人文科学全般の基礎を学び、関連する社会科学と自然科学の諸分野にわたって理解を深め、人間と文化的・社会的営為について広い見識を養います。

理科一類： 数学、物理学、化学を中心にして数理科学・物質科学・生命科学の基礎を学び、自然の基本法則に関する探究心を養い、科学や技術と社会の関わりについても理解を深めます。

理科二類： 生物学、化学、物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び、自然の諸法則に関する探究心を養い、科学や技術と社会の関わりについても理解を深めます。

理科三類： 生物学、化学、物理学を中心にして生命科学・物質科学・数理科学の基礎を学び、人間についての探究心を養い、生命と社会の関わりについても理解を深めます。

(4) 後期課程への進学

学生は 2 年間の前期課程の後、後期課程へ進学します。

進学する学部・学科等は、学生の志望と成績等をもとにして内定されます。

前期課程の各科類から主として進学できる後期課程の学部・学科は以下のとおりです。

（[6 年制］は前期課程 2 年、後期課程 4 年の学科を示します。他は全て、前期課程 2 年、後期課程 2 年の 4 年制学科です。）

文科一類……**法 学 部**〔第 1 類、第 2 類、第 3 類〕
**教養学部**〔教養学科、学際科学科、統合自然科学科〕

文科二類……**経済学部**〔経済学科、経営学科、金融学科〕
**教養学部**〔教養学科、学際科学科、統合自然科学科〕

文科三類……**文 学 部**〔人文学科〕
**教育学部**〔総合教育科学科〕
**教養学部**〔教養学科、学際科学科、統合自然科学科〕

理科一類……**工 学 部**〔社会基盤学科、建築学科、都市工学科、機械工学科、機械情報工学科、航空宇宙工学科、精密工学科、電子情報工学科、電気電子工学科、物理工学科、計数工学科、マテリアル工学科、応用化学科、化学システム工学科、化学生命工学科、システム創成学科〕
**理 学 部**〔数学科、情報科学科、物理学科、天文学科、地球惑星物理学科、地球惑星環境学科、化学科、生物化学科、生物学科、生物情報科学科〕
**薬 学 部**〔薬科学科、薬学科［6 年制］〕
**農 学 部**〔応用生命科学課程、環境資源科学課程〕
**医 学 部**〔健康総合科学科〕

**教養学部**〔統合自然科学科、学際科学科、教養学科〕

理科二類……**農 学 部**〔応用生命科学課程、環境資源科学課程、獣医学課程［6 年制］〕
**薬 学 部**〔薬科学科、薬学科［6 年制］〕
**理 学 部**〔地球惑星環境学科、化学科、生物化学科、生物学科、生物情報科学科〕
**工 学 部**〔応用化学科、化学システム工学科、化学生命工学科、マテリアル工学科、システム創成学科、機械工学科、計数工学科、都市工学科、精密工学科、社会基盤学科、航空宇宙工学科〕
**医 学 部**〔健康総合科学科、医学科［6 年制］〕
**教養学部**〔統合自然科学科、学際科学科、教養学科〕

理科三類……**医 学 部**〔医学科［6 年制］〕

(5) 後期課程の学部・学科等

後期課程の修業年限は、2 年（ただし、医学部医学科、農学部獣医学課程及び薬学部薬学科は 4 年）です。

**法 学 部**　第 1 類（法学総合コース）
第 2 類（法律プロフェッション・コース）
第 3 類（政治コース）

**経 済 学 部**　経済学科
経営学科
金融学科

**文 学 部**　人文学科
哲学、中国思想文化学、インド哲学仏教学、倫理学、宗教学宗教史学、美学芸術学、イスラム学、日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学、美術史学、言語学、日本語日本文学（国語学）、日本語日本文学（国文学）、中国語中国文学、インド語インド文学、英語英米文学、ドイツ語ドイツ文学、フランス語フランス文学、スラヴ語スラヴ文学、イタリア語イタリア文学、現代文芸論、西洋古典学、心理学、社会心理学、社会学の各専修課程

**教 育 学 部**　総合教育科学科
教育学専修（教育学コース）
教育社会科学専修（比較教育社会学コース、教育実践・政策学コース）
心身発達科学専修（教育心理学コース、身体教育学コース）

**教 養 学 部**　教養学科
超域文化科学分科（文化人類学、表象文化論、比較文学比較芸術、現代思想、学際日本文化論、学際言語科学、言語態・テクスト文化論の各コース）
地域文化研究分科（イギリス研究、フランス研究、ドイツ研究、ロシア東欧研究、イタリア地中海研究、北アメリカ研究、ラテンアメリカ研究、アジア・日本研究、韓国朝鮮研究の各コース）
総合社会科学分科（相関社会科学、国際関係論の各コース）

学際科学科
　科学技術論、地理・空間、総合情報学、広域システムの各コース
統合自然科学科
　数理自然科学、物質基礎科学、統合生命科学、認知行動科学、スポーツ科学の各コース

**工　学　部**　社会基盤学科
　設計・技術戦略、政策・計画、国際プロジェクトの各コース
建築学科
都市工学科
　都市環境工学、都市計画の各コース
機械工学科
機械情報工学科
航空宇宙工学科
　航空宇宙システム学、航空宇宙推進学の各コース
精密工学科
電子情報工学科
電気電子工学科
物理工学科
計数工学科
　数理情報工学、システム情報工学の各コース
マテリアル工学科
　バイオマテリアル、環境・基盤マテリアル、ナノ・機能マテリアルの各コース
応用化学科
化学システム工学科
化学生命工学科
システム創成学科
　環境・エネルギーシステム、システムデザイン&マネジメント、知能社会システムの各コース

**理　学　部**　数学科
情報科学科
物理学科
天文学科
地球惑星物理学科
地球惑星環境学科
化学科
生物化学科
生物学科
生物情報科学科

**農　学　部**　応用生命科学課程
　生命化学、生命工学、農業生物学、森林生物科学、水圏生物科学、動物生命システム科学、生物素材化学の各専修

環境資源科学課程
緑地環境学、森林環境資源科学、木質構造科学、生物・環境工学、農業・資源経済学、フィールド科学、国際開発農学の各専修
獣医学課程［後期課程 4 年制］
獣医学専修

**薬　学　部**　薬科学科
薬学科［後期課程 4 年制］

**医　学　部**　医学科［後期課程 4 年制］
健康総合科学科
環境生命科学、公共健康科学、看護科学の各専修

(6) 後期課程の各学部の教育研究上の目的

法 学 部 : 法学と政治学を中核とした教育研究を通じて、幅広い視野をそなえ、法的思考と政治学的識見の基礎を身につけた人材を養成することを目的とします。

医 学 部 : 生命科学・医学・医療の分野の発展に寄与し、国際的指導者になる人材を育成することを目的とします。すなわち、これらの分野における問題の的確な把握と解決のために創造的研究を遂行し、臨床においては、その成果に基づいた全人的医療を実践しうる能力の涵養を目指します。

工 学 部 : 未踏分野の開拓や新たな技術革新に繋がる研究に果敢に挑戦し、人類社会の持続と発展に貢献するとともに、豊かな教養、科学技術に関する体系的な知識及び工学的な思考方法を身につけ、かつ多様性への理解と広い視野を持った人材を育成することを教育研究上の目的とします。

文 学 部 : 人間の思想、歴史、言語、社会に対する真の理解を目指して、文献読解、資料分析、実験・調査といった基本的な方法論を身につけ、広く深い素養を獲得することを通じて、人類文化の継承と発展に寄与しうる人材を育成することを教育研究の目的とします。

理 学 部 : 自然界の仕組みを体系的に理解して、自然科学の諸分野で先端的な研究を行う人材及び理学の素養の上に社会で創意ある活動を行う人材養成を目指し、学生自らが第一線の研究に触れる中から自然に問いかけ思索する能力を修得させることを目標とします。

農 学 部 : 農学を構成する応用諸科学に関する専門教育を段階的・体系的に行い、食料・資源・環境等の問題の解決に必要な高度の専門知識と幅広い視野を有し、社会・文化・産業活動を通じて地球社会の要請に応えることのできる洞察力・実践力・指導力を備えた人材を育成することを目的とします。

経済学部 : 経済学・経営学の多様な分野に関する理論的・実証的な学説・知識を体系的に講義するとともに、演習などで個別研究を行う機会を提供することによって、国際的な視野

に立って実業界・官界・学界などで活躍する人材を養成することを目的とします。

教養学部：学際的・統合的な研究と教育の発展を前提として、専門分野の基礎学力の養成、専門分野間の横断や融合や統合を可能にする総合的理解力・判断力の養成、問題解決能力を備えた社会的リーダーシップをとりうる人材の養成、世界に開かれた視野と発信力の養成を教育研究上の目的とします。

教育学部：広い視野と学識にもとづいて深く教育学を中心とする専門的知識と教養を形成し、教育を中心とする諸分野の指導的人材を養成することを目的とします。

薬 学 部：医薬の創製からその適正使用までを目標とし、生命に関わる物質及びその生体との相互作用を対象とする学問体系です。本学部は創薬科学及び基礎生命科学の発展に寄与する研究者、医療行政に貢献する人材、高度医療を担う薬剤師の養成を教育研究の目的とします。

別紙１

# 令和９(2027)年度東京大学入学者選抜方法等
# （一般選抜、専門学科・総合学科卒業生入試、総合型選抜）

| 選抜方法 ＼ 科類 | | 個別学力検査等（第２次学力試験） | | | | | | | | 専門学科・総合学科卒業生入試 | | | | | | | 総合型選抜 | 個別学力検査等の日程（第２次学力試験の日程） | 備考（欠員の補充の方法等） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 個別学力検査を課する | 実技検査等 | | | | ２段階選抜 | | | 個別学力検査を課する | 実技検査等 | | | | 帰国生徒外国人 追加合格 | | | | |
| | | | 実技検査を課する | 面接を行う | 小論文を課する | 外国語におけるリスニングテストを課する | 主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第１段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う | 第１段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率 | 第１段階の選抜による合格者数 その他 | | 実技検査を課する | 面接を行う | 小論文を課する | 外国語におけるリスニングテストを課する | | | | | |
| 前期日程 | 文科一類 | ○ | × | × | × | ○ | ○ | 約2.5倍 | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | 文科二類 | ○ | × | × | × | ○ | ○ | 約2.5倍 | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | 文科三類 | ○ | × | × | × | ○ | ○ | 約2.5倍 | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | 理科一類 | ○ | × | × | × | ○ | ○ | 約2.3倍 | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | 理科二類 | ○ | × | × | × | ○ | ○ | 約3.0倍 | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |
| | 理科三類 | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | 約2.8倍 | × | × | × | × | × | × | × | × | | | |

（注）　２月27日（土）は理科三類のみとなります。

※　○印は該当することを、×印は該当しないことを示します。

# 令和 9(2027)年度東京大学入学者選抜方法等（特別入試）

| 選抜方法等 ＼ 科類 学部 | 学校推薦型選抜 | | | | | | | | 帰国生徒・社会人等のための特別入試 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、提出書類・資料、面接等及び大学入学共通テストの成績を総合的に評価し、判定する | | | | | | | 募集人員 | 外国学校卒業学生特別選考 | | 中国引揚者等生徒 | 社会人 |
| | 個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課する | 個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する | 実技検査を課する | 面接を行う | 小論文を課する | 外国語におけるリスニングテストを課する | その他 | | 第１種 私費留学生 | 第２種 帰国生徒 | | |
| 文科一類 | | | | | | | | | ○ | ○ | × | × |
| 文科二類 | | | | | | | | | ○ | ○ | × | × |
| 文科三類 | | | | | | | | | ○ | ○ | × | × |
| 理科一類 | | | | | | | | | ○ | ○ | × | × |
| 理科二類 | | | | | | | | | ○ | ○ | × | × |
| 理科三類 | | | | | | | | | ○ | ○ | × | × |
| 法学部 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 10 人程度 | | | | |
| 経済学部 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 10 人程度 | | | | |
| 文学部 | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | 10 人程度 | | | | |
| 教育学部 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 5 人程度 | | | | |
| 教養学部 | ○ | × | × | ○ | ○ | × | × | 5 人程度 | | | | |
| 工学部 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 30 人程度 | | | | |
| 理学部 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 10 人程度 | | | | |
| 農学部 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 10 人程度 | | | | |
| 薬学部 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 5 人程度 | | | | |
| 医学部 医学科 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 3 人程度 | | | | |
| 医学部 健康総合科学科 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | 2 人程度 | | | | |

※学校推薦型選抜により入学した場合、前期課程 1・2 年次は、各学部等が指定する科類で学修します。

後期課程 3 年次以降は、法・経済・文・教育・教養・工・理・農・薬・医のうち、出願時に志望した学部へ進学します。

※○印は該当することを、×印は該当しないことを示します。

# 令和9(2027)年度東京大学入学者選抜方法等
# (一般選抜 (UTokyo College of Design))

| 選抜方法等 / 出願方法 | 一般選抜 (UTokyo College of Design) | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 個別学力検査等 | | | | | | 大学入学共通テストを課す | 2段階選抜を実施する | 個別学力検査等の日程 | 備考 |
| | | 実技検査等 | | | | | | | | |
| | 教科・科目に係る個別テストを課す | 小論文を課す | 面接を課す | 実技検査を課す | 教科・科目に係る個別テストの外国語にリスニングを課す | 総合問題を課す | | | | |
| Route A | × | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | 2月15日・16日 | |
| Route B | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | 1月13日～22日 | |

※　○印は該当することを、×印は該当しないことを示します。

※　本事業は文部科学省に設置申請中であり、今後変更が生じる可能性があります。

別紙２

# 令和９(2027)年度東京大学入学者選抜（一般選抜）前期日程試験の実施教科・科目等について〔文科各類〕

| 学部・学科等名及び入学定員等 | 学力検査等の区分・日程 | 大学入学共通テストの利用教科・科目名　注１ | | 個別学力検査等（第２次学力試験）　注２ | | ２段階選抜 | 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等　注３ | | | | | | | | | その他の選抜方法等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 教科 | 科目名等 | 教科 | 科目名等 | | 試験区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 配点合計 | |
| 文科一類<br>387 人<br>前期　387<br>その他　若干<br><br>令和８(2026)年度志願倍率<br>3.1 倍 | 前期<br>２月 25・26 日 | 国語<br>地理歴史<br>公民<br>数学<br>理科<br>外国語<br>情報 | 『国語』<br>『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』｝から２<br>『公共，倫理』、『公共，政治・経済』｝<br>『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅱ，数学B，数学C』<br>『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から２<br>（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２）<br>『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から１<br>『情報Ⅰ』<br>〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | 国語<br>数学<br>地理歴史<br>外国語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究<br>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C<br>「日本史探究」、「世界史探究」、「地理探究」から２<br>英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）、ドイツ語、フランス語、中国語から１ | 約 2.5 倍 | 共通テスト | (200) | (200) | | (200) | (100) | (200) | (100) | 110<br>(1000) | 帰国生徒<br>外国人<br><br>追加合格 |
| | | | | | | | 個別学力検査 | 120 | 120 | | 80 | | 120 | | 440 | |
| 文科二類<br>341 人<br>前期　341<br>その他　若干<br><br>令和８(2026)年度志願倍率<br>2.8 倍 | 前期<br>２月 25・26 日 | 国語<br>地理歴史<br>公民<br>数学<br>理科<br>外国語<br>情報 | 『国語』<br>『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』｝から２<br>『公共，倫理』、『公共，政治・経済』｝<br>『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅱ，数学B，数学C』<br>『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から２<br>（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２）<br>『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から１<br>『情報Ⅰ』<br>〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | 国語<br>数学<br>地理歴史<br>外国語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究<br>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C<br>「日本史探究」、「世界史探究」、「地理探究」から２<br>英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）、ドイツ語、フランス語、中国語から１ | 約 2.5 倍 | 共通テスト | (200) | (200) | | (200) | (100) | (200) | (100) | 110<br>(1000) | 帰国生徒<br>外国人<br><br>追加合格 |
| | | | | | | | 個別学力検査 | 120 | 120 | | 80 | | 120 | | 440 | |
| 文科三類<br>453 人<br>前期　453<br>その他　若干<br><br>令和８(2026)年度志願倍率<br>2.7 倍 | 前期<br>２月 25・26 日 | 国語<br>地理歴史<br>公民<br>数学<br>理科<br>外国語<br>情報 | 『国語』<br>『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』｝から２<br>『公共，倫理』、『公共，政治・経済』｝<br>『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅱ，数学B，数学C』<br>『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から２<br>（『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２）<br>『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から１<br>『情報Ⅰ』<br>〔６教科８科目又は７教科８科目〕 | 国語<br>数学<br>地理歴史<br>外国語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究<br>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C<br>「日本史探究」、「世界史探究」、「地理探究」から２<br>英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）、ドイツ語、フランス語、中国語から１ | 約 2.5 倍 | 共通テスト | (200) | (200) | | (200) | (100) | (200) | (100) | 110<br>(1000) | 帰国生徒<br>外国人<br><br>追加合格 |
| | | | | | | | 個別学力検査 | 120 | 120 | | 80 | | 120 | | 440 | |

注１　【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1) 地理歴史及び公民において、『公共，倫理』及び『公共，政治・経済』の２科目を選択することはできません。公民から１科目選択する際は、地理歴史から１科目選択してください。

(2) 理科において、「基礎を付した科目」とは、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』、「基礎を付していない科目」とは、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』を指します。

(3) 理科において、基礎を付していない科目『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２科目を選択した場合には、基礎を付した科目『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を選択したものとみなします。

(4) 理科において、第１解答科目として、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』と、第２解答科目として、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の４科目の中から１科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」を利用します。

(5) 理科において、「理科」の試験時間に２科目を受験した場合において、前半の 60 分間で解答した科目を第１解答科目、後半の 60 分間で解答した科目を第２解答科目といいます。（詳細は、大学入試センターWeb サイト https://www.dnc.ac.jp/ 等を参照してください。）

なお、「理科」の試験時間において「基礎を付した科目」と、「基礎を付していない科目」のいずれかを選択する場合には、「基礎を付した科目」を第１解答科目にて選択してください。たとえ、第２解答科目で「基礎を付した科目」を受験しても第２次学力試験を受験できません。

注２　【個別学力検査等】欄

(1) 数学の出題範囲は、次のとおりです。

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは全範囲から、数学Bは「数列」、「統計的な推測」から、数学Cは「ベクトル」から出題します。

(2) 英語試験の一部分に聞き取り試験を行います。

注３　【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

(1) 第１段階選抜を行う場合には、表中に掲げる大学入学共通テストの各教科・科目の合計得点（1000 点満点／各教科の配点は（　）内のとおり。）により行います。

学力試験の成績は、大学入学共通テストの成績（配点 110 点：上記の合計得点（1000 点満点）に 1000 分の 110 をかけた値をもってこの成績とします。）と個別学力検査（第２次学力試験）の成績（配点 440 点）とを総合（550 点満点）して算出します。

(2) 大学入学共通テストにおいて、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の４科目の中から２科目を選択した場合には、合計得点（200 点満点）を 100 点満点に換算して利用します。なお、「基礎を付していない科目」を選択した場合の教科・科目の合計数は、６教科９科目又は７教科９科目となります。

(3) 大学入学共通テストにおいて、外国語の「英語」は「リーディング」100 点と「リスニング」100 点、計 200 点満点を「リーディング」140 点満点、「リスニング」60 点満点に換算して利用します。

なお、聴覚障害等により「リスニング」を免除された者は、「リーディング」100 点満点の成績を 200 点満点に換算し、『英語』以外の外国語を選択した者は、筆記（200 点満点）の成績を利用します。

# 令和９(2027)年度東京大学入学者選抜（一般選抜）前期日程試験の実施教科・科目等について〔理科各類〕

| 学部・学科等名及び入学定員等 | 学力検査等の区分・日程 | 大学入学共通テストの利用教科・科目名　注１ 教科 | 科目名等 | 個別学力検査等（第２次学力試験）　注２ 教科 | 科目名等 | ２段階選抜 | 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等　注３ 試験区分 | 国語 | 地歴 | 公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 情報 | 面接 | 配点合計 | その他の選抜方法等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 理科一類<br>1,071 人<br>前期　1,071<br>その他　若干<br><br>令和８(2026)年度志願倍率<br>2.5 倍 | 前期<br>２月 25・26 日 | 国語<br>地理歴史<br>公民<br>数学<br>理科<br>外国語<br>情報 | 『国語』<br>『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』から１<br>『公共，倫理』、『公共，政治・経済』<br>『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅱ，数学B，数学C』<br>『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２<br>『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から１<br>『情報Ⅰ』<br>〔6 教科 8 科目〕 | 国語<br>数学<br>理科<br>外国語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究<br>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C<br>「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から２<br>英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）、ドイツ語、フランス語、中国語から１ | 約 2.3 倍 | 共通テスト<br>個別学力検査 | (200)<br>80 | (100) | | (200)<br>120 | (200)<br>120 | (200)<br>120 | (100) | | 110<br>(1000)<br>440 | 帰国生徒<br>外国人<br>追加合格 |
| 理科二類<br>514 人<br>前期　514<br>その他　若干<br><br>令和８(2026)年度志願倍率<br>3.2 倍 | 前期<br>２月 25・26 日 | 国語<br>地理歴史<br>公民<br>数学<br>理科<br>外国語<br>情報 | 『国語』<br>『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』から１<br>『公共，倫理』、『公共，政治・経済』<br>『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅱ，数学B，数学C』<br>『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２<br>『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から１<br>『情報Ⅰ』<br>〔6 教科 8 科目〕 | 国語<br>数学<br>理科<br>外国語 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究<br>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C<br>「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から２<br>英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）、ドイツ語、フランス語、中国語から１ | 約 3.0 倍 | 共通テスト<br>個別学力検査 | (200)<br>80 | (100) | | (200)<br>120 | (200)<br>120 | (200)<br>120 | (100) | | 110<br>(1000)<br>440 | 帰国生徒<br>外国人<br>追加合格 |
| 理科三類<br>92 人<br>前期　92<br>その他　若干<br><br>令和８(2026)年度志願倍率<br>3.8 倍 | 前期<br>２月 25・26・27 日 | 国語<br>地理歴史<br>公民<br>数学<br>理科<br>外国語<br>情報 | 『国語』<br>『地理総合，地理探究』、『歴史総合，日本史探究』、『歴史総合，世界史探究』から１<br>『公共，倫理』、『公共，政治・経済』<br>『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅱ，数学B，数学C』<br>『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２<br>『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から１<br>『情報Ⅰ』<br>〔6 教科 8 科目〕 | 国語<br>数学<br>理科<br>外国語<br><br>その他 | 現代の国語、言語文化、論理国語、文学国語、国語表現、古典探究<br>数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C<br>「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」から２<br>英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）、ドイツ語、フランス語、中国語から１<br>面接 | 約 2.8 倍 | 共通テスト<br>個別学力検査 | (200)<br>80 | (100) | | (200)<br>120 | (200)<br>120 | (200)<br>120 | (100) | ※ | 110<br>(1000)<br>440 | 帰国生徒<br>外国人<br>追加合格 |

注１ 【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1) 地理歴史及び公民において、その試験時間に２科目を受験した場合には、第１解答科目の成績を合否判定に利用します。

(2) 地理歴史及び公民において、その試験時間に２科目を受験した場合において、前半の 60 分間で解答した科目を第１解答科目、後半の 60 分間で解答した科目を第２解答科目といいます。（詳細は，大学入試センターWeb サイト https://www.dnc.ac.jp/ 等を参照してください。）

なお、第１解答科目で本学が指定していない科目を受験した場合には、たとえ第２解答科目で本学が指定する科目を受験した場合でも、第２次学力試験を受験できません。

注２ 【個別学力検査等】欄

(1) 数学の出題範囲は、次のとおりです。

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは全範囲から、数学Bは「数列」、「統計的な推測」から、数学Cは「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

(2) 理科の出題範囲は次のとおりです。

「物理基礎・物理」　物理基礎、物理の全範囲から出題します。

「化学基礎・化学」　化学基礎、化学の全範囲から出題します。

「生物基礎・生物」　生物基礎、生物の全範囲から出題します。

「地学基礎・地学」　地学基礎、地学の全範囲から出題します。

(3) 英語試験の一部分に聞き取り試験を行います。

注３ 【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

(1)第１段階選抜を行う場合には、表中に掲げる大学入学共通テストの各教科・科目の合計得点（1000 点満点／各教科の配点は（　）内のとおり。）により行います。

学力試験の成績は、大学入学共通テストの成績（配点 110 点：上記の合計得点（1000 点満点）に 1000 分の 110 をかけた値をもってこの成績とします。）と個別学力検査（第２次学力試験）の成績（配点 440 点）とを総合（550 点満点）して算出します。

※　理科三類の面接は、総合判定の判断資料とします。 理科三類入学者の選抜においては、学力試験（大学入学共通テスト及び第２次学力試験）及び調査書に加え、面接の結果を含めて総合的に判定し、将来、医療や医学研究に従事するのにふさわしい資質を持った受験者を、合格者とします。

したがって、学力試験の得点にかかわらず不合格となることがあります。なお、面接では、医学への適性（医学への意欲、論理性、倫理性、コミュニケーション能力等）を評価します。

(2)大学入学共通テストにおいて、外国語の「英語」は「リーディング」100 点と「リスニング」100 点、計 200 点満点を「リーディング」140 点満点、「リスニング」60 点満点に換算して利用します。

なお、聴覚障害等により「リスニング」を免除された者は、「リーディング」100 点満点の成績を 200 点満点に換算し、『英語』以外の外国語を選択した者は、筆記（200 点満点）の成績を利用します。

別紙 3

# 令和 9(2027)年度学校推薦型選抜

東　京　大　学

| | |
|---|---|
| 実施学部等 | 法学部、経済学部、文学部、教育学部、教養学部<br>工学部、理学部、農学部、薬学部、医学部医学科、医学部健康総合科学科 |
| 募集人員 | 法学部 10 人程度、経済学部 10 人程度、文学部 10 人程度、教育学部 5 人程度、<br>教養学部 5 人程度、工学部 30 人程度、理学部 10 人程度、農学部 10 人程度、<br>薬学部 5 人程度、医学部医学科 3 人程度、医学部健康総合科学科 2 人程度 |
| 出願資格 | ① 高等学校又は中等教育学校を令和 7(2025)年 4 月以降に卒業した者及び令和 9(2027)年 3 月卒業見込みの者<br>② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9(2027)年 3 月修了見込みの者<br>③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和 7(2025)年 4 月以降に修了した者及び令和 9(2027)年 3 月 31 日までに修了見込みの者 |
| 推薦要件 | ①学部ごとに定める推薦要件に該当し、当該学部の学問分野に対する強い関心及びこれを本学で学ぶ積極的な意欲を持ち、学校長が責任をもって推薦できる者<br>②合格した場合、必ず入学することを確約できる者<br>③令和 9 年度大学入学共通テストのうち、志望する学部が指定する教科・科目の全てを受験する者（別紙 4 参照）<br>学校長は、上記の要件の全てに該当する者を合計 4 人、ただし、男女は、各 3 人まで推薦できることとします。男女いずれかのみが在学する学校においては、推薦できる人数は 3 人となります。<br>また、同一学部・学科への推薦は、男女各 1 人までとします（医学部においては、医学科と健康総合科学科への出願は可）。<br>なお、同一の志願者を複数の学部に推薦することはできません（医学部においては、医学科と健康総合科学科の併願も不可）。 |
| 選抜方法等 | 合否判定は、提出書類・資料、面接等、及び大学入学共通テストの成績を総合的に評価して行います。具体的には、次の（1）～（3）のとおり実施します。<br>（1） 提出書類・資料の内容により第 1 次選考を実施します。<br>（2） 第 1 次選考合格者に対して学部ごとに面接等を実施します。面接等の実施方法の詳細については、「令和 9(2027)年度 東京大学学校推薦型選抜学生募集要項」を参照してください。<br>（3） 提出書類・資料、面接等、及び大学入学共通テストの成績を総合的に評価した上で、最終合格者を決定します。<br>なお、大学入学共通テストは、入学後の学修を円滑に行い得る基礎学力を有しているかどうかを判断する観点から、概ね 8 割以上の得点であることを目安とします。 |
| 出願期間 | 令和 8(2026)年 11 月 1 日（日）正午頃～11 月 6 日（金）17 時 |
| 面接等実施日 | 令和 8(2026)年 12 月 12 日（土）、13 日（日） |
| 合格発表日 | ・第 1 次選考の結果発表・通知<br>令和 8(2026)年 12 月 1 日（火）15 時頃<br>・最終合格者発表・通知<br>令和 9(2027)年 2 月 10 日（水）12 時頃 |
| その他 | 「令和 9(2027)年度 東京大学学校推薦型選抜学生募集要項」は、次のウェブサイトに掲載しているものをダウンロードしてください。<br>https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/undergraduate/e01_28.html<br>また、出願に当たっては、そのプロセスの一部に、志願者がインターネットを利用して「入学志願票」の必要項目を登録する必要があります（志願者情報等の登録）。<br>学校推薦型選抜に関する照会先：東京大学入試事務室　学校推薦型選抜担当<br>電子メール nyuusi3.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp |

別紙４

# 令和９(2027)年度東京大学入学者選抜（学校推薦型選抜）の大学入学共通テストの利用教科・科目について

## (1) 法学部、経済学部、文学部、教育学部、教養学部

（6 教科 8 科目又は 7 教科 8 科目〔配点合計 1000 点〕）

| 教　科 | 科　目 | 科目選択の方法 | 配点 |
|---|---|---|---|
| 国　語 | 『国語』 | 必　須 | 200 点 |
| 地理歴史 | 『地理総合，地理探究』<br>『歴史総合，日本史探究』<br>『歴史総合，世界史探究』 | 左の 5 科目のうちから 2 科目を選択<br>ただし、『公共，倫理』及び『公共，政治・経済』の 2 科目を選択することはできません。公民から 1 科目選択する際は、地理歴史から 1 科目選択してください。 | 200 点 |
| 公　民 | 『公共，倫理』<br>『公共，政治・経済』 | | |
| 数　学 | 『数学Ⅰ，数学 A』 | 必　須 | 200 点 |
| | 『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』 | 必　須 | |
| 理　科 | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』<br><br>『物理』<br>『化学』<br>『生物』<br>『地学』 | 左の基礎を付した科目を選択（4 つの出題範囲から 2 つを選択解答）<br>ただし、「基礎を付していない科目」を 2 科目選択した場合には、「基礎を付した科目」を選択したものとみなします。(注 1)<br>なお、理科の時間において「基礎を付した科目」を含め 2 科目選択した場合は、第 1 解答科目の成績を合否判定に利用します。(注 2) | 100 点 |
| 外 国 語 | 『英語』<br>『ドイツ語』<br>『フランス語』<br>『中国語』<br>『韓国語』 | 左の 5 科目のうちから 1 科目を選択 | 200 点 (注 3) |
| 情　報 | 『情報Ⅰ』 | 必　須 | 100 点 |

(注 1) (1)「基礎を付した科目」とは、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指します。
(2)「基礎を付していない科目」とは、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』を指します。
(3) **第１解答科目**として、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』と、**第２解答科目**として、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の４科目の中から１科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」を利用します。（注２も参照のこと）
(4)『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の 4 科目の中から 2 科目選択した場合には、合計得点（200 点満点）を 100 点満点に換算して利用します。なお、「基礎を付していない科目」を選択した場合の教科・科目の合計数は、 6 教科 9 科目又は 7 教科 9 科目となります。

(注 2) 「理科」の試験時間に 2 科目を受験した場合において、前半の 60 分間で解答した科目を第 1 解答科目、後半の 60 分間で解答した科目を第 2 解答科目といいます。(詳細は、大学入試センターWeb サイト https://www.dnc.ac.jp/等を参照してください。)
**なお、「理科」の試験時間において「基礎を付した科目」と、「基礎を付していない科目」のいずれかを選択する場合には、「基礎を付した科目」を第１解答科目にて選択してください。たとえ、第２解答科目で「基礎を付した科目」を受験しても本学が指定する科目を受験したことになりません。**

(注 3) 外国語の『英語』は「リーディング」100 点と「リスニング」100 点、計 200 点満点を「リーディング」140 点満点、「リスニング」60 点満点に換算して利用します。（※）
（※）聴覚障害等により「リスニング」を免除された者は、「リーディング」を 200 点満点に換算し、『英語』以外の外国語を選択した者は、筆記（200 点満点）の成績を利用します。

**(2) 工学部、理学部、農学部、薬学部、医学部、教育学部、教養学部**

（6 教科 8 科目〔配点合計 1000 点〕）

| 教　科 | 科　目 | 科 目 選 択 の 方 法 | 配　点 |
|---|---|---|---|
| 国　語 | 『国語』 | 必　須 | 200 点 |
| 地理歴史 | 『地理総合，地理探究』<br>『歴史総合，日本史探究』<br>『歴史総合，世界史探究』 | 左の 5 科目のうちから 1 科目を選択<br>なお、地理歴史及び公民の試験時間において 2 科目を受験した場合には、第 1 解答科目の成績を合否判定に利用します。(注 1) | 100 点 |
| 公　民 | 『公共，倫理』<br>『公共，政治・経済』 | | |
| 数　学 | 『数学Ⅰ，数学Ａ』 | 必　須 | 200 点 |
| | 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 | 必　須 | |
| 理　科 | 『物理』<br>『化学』<br>『生物』<br>『地学』 | 左の 4 科目のうちから 2 科目を選択 | 200 点 |
| 外 国 語 | 『英語』<br>『ドイツ語』<br>『フランス語』<br>『中国語』<br>『韓国語』 | 左の 5 科目のうちから 1 科目を選択 | 200 点<br>(注 2) |
| 情　報 | 『情報Ⅰ』 | 必　須 | 100 点 |

(注 1) 「地理歴史，公民」の試験時間に 2 科目を受験した場合において、前半の 60 分間で解答した科目を**第 1 解答科目**、後半の 60 分間で解答した科目を**第 2 解答科目**といいます。（詳細は、大学入試センターウェブサイト https://www.dnc.ac.jp/ 等を参照してください。）

(注 2) 外国語の『英語』は「リーディング」100 点と「リスニング」100 点、計 200 点満点を「リーディング」140 点満点、「リスニング」60 点満点に換算して利用します。（※）

（※）聴覚障害等により「リスニング」を免除された者は、「リーディング」を 200 点満点に換算し、『英語』以外の外国語を選択した者は、筆記（200 点満点）の成績を利用します。

別紙５

# 2027年度外国学校卒業学生特別選考

東　京　大　学

<table>
<tr><td>実施科類</td><td>文科一類、文科二類、文科三類<br>理科一類、理科二類、理科三類</td></tr>
<tr><td>募集人員</td><td>文科一類、文科二類、文科三類<br>理科一類、理科二類、理科三類　｝第１種、第２種　各若干名</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td>
【第1種（私費留学生）】<br>
2022年4月1日から2027年3月31日までの間に、次の基礎資格を初めて取得し、かつ、要件を満たしている者とします。<br><br>
（1）基礎資格<br>
次のア、イ、ウのいずれかに該当すること。<br>
ア　外国において、学校教育12年の課程の最終学校を修了した者及び修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（12年未満の課程を修了する場合は、文部科学省により指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要があります。）<br>
※　「外国において、学校教育12年の課程」とは、地理的、場所的に外国において、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、修了により大学への受験資格を得られることを要します。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかが不明な場合、それぞれの国の大使館等にお問い合わせください。<br>
※　インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia（NWAC、SACS、CASI、NCA CASI）、 COBIS）の認定を受けた、地理的、場所的に外国にある教育施設の出身者に限り、出願が認められます。<br>
※　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を修了した者は出願が認められません。<br>
イ　外国において、次のいずれかの資格を取得した者<br>
○スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格<br>
○ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格<br>
○フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格<br>
○欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン･バカロレア資格<br>
○グレート･ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格及びインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（インターナショナルAレベル資格）<br>
ウ　外国において、その国の学校教育12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、かつ、18歳に達した者<br><br>
※１　自身の出願資格に不明な点がある場合は、2026年9月18日(金)までに入試事務室に照会すること。<br>
※２　「基礎資格-イ及びウ」について、出願期間最終日までに資格を証明する書類を提出できない場合は、入試事務室へ連絡の上、資格取得後速やかに（2～3日以内に）証明書類を発送してください。2027年3月31日までに到着したものについては、基礎資格を満たす書類として受理します。<br><br>
（2）要件<br>
次に掲げる全ての要件を満たすこと。<br>
①　出願および入学の時点で、日本国籍を有さず、日本国の永住許可を得ていないこと。<br>
②　独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（2026年6月、2026年11月実施のいずれか）の所定の科目を全て受験していること（日本語・英語いずれの出題言語でも受験可）。<br>
<table>
<tr><td rowspan="2">所定の科目</td><td>文科各類</td><td>「日本語」「総合科目」「数学（コース1）」</td></tr>
<tr><td>理科各類</td><td>「日本語」「理科（物理・化学・生物から2科目）」「数学（コース2）」</td></tr>
</table>
※　数学のコース選択を間違えた者は、出願を受け付けられません。
</td></tr>
</table>

数学は、文科各類と理科各類で選択コースが異なるので、注意してください。

③　TOEFL iBT又はIELTS（国際英語能力テスト。アカデミックモジュール）を出願開始前2年以内に受験していること。

※１　「TOEFL Home Edition」も有効とします。

※２　TOEFLについては、Test Date scoresを使用します。MyBest scores は使用しません。

※３　IELTSについては、One Skill Retakeによるスコアは使用しません。

④　外国において学校教育12年の課程の最終学校に、外国に在住しながら、原則として1年以上在学し、修了すること。

ただし、戦争や紛争自然災害などにより、要件④を満たせない場合は、出願前に入試事務室へ相談してください。

**【第2種（帰国生徒）】**

2025年4月1日から2027年3月31日までの間に、次の基礎資格を初めて取得し、かつ、要件を満たしている者とします。

(1) 基礎資格

次のア、イ、ウのいずれかに該当すること。

ア　外国において、学校教育12年の課程の最終学校を修了した者及び修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

※　「外国において、学校教育12年の課程」とは、地理的、場所的に外国において、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置づけられたものであって、修了により大学への受験資格を得られることを要します。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかが不明な場合、それぞれの国の大使館等にお問い合わせください。

※　インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者については、国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia（NWAC、SACS、CASI、NCA CASI）、 COBIS）の認定を受けた、地理的、場所的に外国にある教育施設の出身者に限り、出願が認められます。

※　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を修了した者は出願が認められません。

イ　外国において、次のいずれかの資格を取得した者

○スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格

○ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格

○フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格

○欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格

○グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格及びインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（インターナショナルAレベル資格）

ウ　外国において、その国の学校教育12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、かつ、18歳に達した者

※１　自身の出願資格に不明な点がある場合は、2026年9月18日(金)までに入試事務室に照会すること。

※２　「基礎資格-イ及びウ」について、出願期間最終日までに資格を証明する書類を提出できない場合は、入試事務室へ連絡の上、資格取得後速やかに（2～3日以内に）証明書類を発送してください。2027年3月31日までに到着したものについては、基礎資格を満たす書類として受理します。

(2) 要件

次の①および②の要件を満たし、かつ、③、④いずれかの要件を満たすこと。

①　出願および入学の時点で、日本国籍を有している、または日本国の永住許可を得ていること。

②　TOEFL iBT又はIELTS（国際英語能力テスト。アカデミックモジュール）を出願開始前2年以内に受験していること。

※１　「TOEFL Home Edition」も有効とします。

※２　TOEFLについては、Test Date scoresを使用します。MyBest scores は使用しません。

※３　IELTSについては、One Skill Retakeによるスコアは使用しません。

| | |
|---|---|
| | ③　外国において学校教育12年の課程の最終学校に、外国に在住しながら、最終学年を含め継続して2年以上在学し、修了すること。<br>　ただし、最終学年の休業等によって書類上の在学期間が2年未満となる場合については、出願後、第1次選考前に行う出願資格審査において、2年以上在学した者との実質的な同等性について判断します。<br>　なお、政府の渡航中止勧告または退避勧告に従った結果等により、要件③を満たせない場合は、出願前に入試事務室へ相談してください。<br>④　外国において学校教育12年の課程の最終学校に、外国に在住しながら、最終学年を含め最終学年からさかのぼって連続する6年間のうち通算で5年以上在学し、修了すること。<br>　ただし、休業等によって書類上の在学期間が5年未満となる場合については、出願後、第1次選考前に行う出願資格審査において、5年以上在学した者との実質的な同等性について判断します。<br>　なお、政府の渡航中止勧告または退避勧告に従った結果等により、要件④を満たせない場合は、出願前に入試事務室へ相談してください。 |
| 選抜方法等 | **【第1種（私費留学生）】**<br>（1）第1次選考　提出された出願書類を総合的に審査し、選考を行います。<br>（2）第2次選考　第1次選考合格者に対し、小論文及び面接を課し、第1次選考の結果も踏まえ総合的に選考を行います。<br>小論文及び面接については次のとおりです。<br>［小論文］　2問を課します。2問とも日本語で解答してください。<br>［面接］　　日本語で行い、個人面接とします。<br><br>**【第2種（帰国生徒）】**<br>（1）第1次選考　提出された出願書類を総合的に審査し、選考を行います。<br>（2）第2次選考　第1次選考合格者に対し、小論文、学力試験及び面接を課し、第1次選考の結果も踏まえ総合的に選考を行います。<br>小論文、学力試験及び面接については次のとおりです。<br>［小論文］　2問を課します。<br>第1問は日本語で解答し、第2問は次の言語のうちからあらかじめ出願の際に届け出たもので解答してください。英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、韓国朝鮮語、アラビア語<br>［学力試験］<br>（文科各類）<br>外国語　　1 英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ）※一部マークシートに解答する問題があります。また、聞き取り試験（30分程度）を行います。<br>2 ドイツ語、3 フランス語、4 中国語のうちあらかじめ出願の際に届け出た1外国語。<br>ただし、英語の選択者に限り、英語の問題の一部分に代えて、他の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語）のうちから一つの外国語を試験場において選択することができます。<br>（理科各類）<br>数学　　数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、統計的な推測）、数学C（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）とします。<br>理科　　「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の4科目のうち、あらかじめ出願の際に届け出た2科目<br>［面接］　　日本語で行い、個人面接とします。 |
| 出願期間 | 第1種　2026年12月1日（火）から12月7日（月）17時必着（日本時間）<br>第2種　2026年11月9日（月）から11月13日（金）17時必着（日本時間） |
| 選考時期 | 第1種　2027年2月25日（木）、3月4日（木）<br>第2種　2027年2月25日（木）・26日（金）、3月4日（木） |
| 合格発表日 | 2027年3月10日（水） |

| | |
|---|---|
| その他 | 「2027年度外国学校卒業学生特別選考募集要項」は、次のウェブサイトに掲載しているものをダウンロードしてください。<br>https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/undergraduate/e01_02_04.html<br>また、出願に当たっては、そのプロセスの一部に、志願者がインターネットを利用して「入学志願票」の必要項目を登録する必要があります（志願者情報等の登録）。<br><br>お問合せは電子メールにて、本人が行ってください。<br>※お問合せの前に募集要項とウェブサイト記載のQ&Aをご確認の上、以下の情報を明示してください。<br>（1）出願を予定している種別（第1種、第2種のどちらなのか）<br>（2）出願を予定している入試年度（例： 2027年4月入学のための入試の場合、2027年度入試）<br>外国学校卒業学生特別選考に関する照会先：<br>電子メール　nyuusi2.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp　（日本語又は英語） |

別紙６

# 令和９(2027)年度 UTokyo College of Design 入学者選抜

令和９(2027)年９月に、学士・修士一貫５年制の教育課程 UTokyo College of Design を開設予定であり、選抜方法等について以下を予定しています。
（本事業は文部科学省に設置申請中であり、今後変更が生じる可能性があります。）

東 京 大 学

| | |
|---|---|
| 実施学部等 | UTokyo College of Design（令和９（2027）年９月開設予定） |
| 募集人員 | 100 名（Route A：50 名、Route B：50 名） |
| 出願資格 | 2027 年８月 31 日までに以下の条件を満たす者は、UTokyo College of Design の出願資格を満たします。<br><br>1. 高等学校または中等教育学校を卒業した者<br>2. 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者<br>3. 学校教育法施行規則（昭和二十二年文部省令第十一号）第百五十条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の各項目の一に該当する者<br>a. 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者<br>b. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者<br>c. 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者<br>d. 文部科学大臣の指定した者<br>e. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成十七年文部科学省令第一号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）で 18 歳に達する者<br>f. 学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和四年文部科学省令第十八号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者<br>g. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達する者<br><br>※上記の出願資格１、２、および３ の(a)～(f)のいずれも満たさない者で個別の入学資格審査を希望する者、または出願資格に不明な点がある者は、2026 年９月 25 日（金）17 時 00 分（日本時間） までに、以下に記載する問い合わせフォームから UTokyo College of Design の入試事務室に連絡してください。 |
| 出願要件 | 【Route A】<br>令和９年度大学入学共通テスト（2027 年１月実施）において、東京大学が指定する科目を受験することを要件とします。<br>※指定する大学入学共通テストの科目は、別紙７を参照してください。<br>※入学後の学修を円滑に行い得る基礎学力を有しているかどうかを判断する観点から、概ね８割以上の得点であることを目安とします。<br><br>【Route B】<br>次の Requirement 1、Requirement 2 のうち、いずれかを満たすことを要件とします。<br>1. Requirement 1<br>東京大学が指定する統一試験（SAT または ACT） のうち一つを受験し、出願期間内に結果を提出してください。<br>2. Requirement 2<br>東京大学が指定する資格または試験（国際バカロレア（IB）・国際 A レベル・欧州バカロレア・アビトゥア・バカロレア・GCE A レベル等）のうち一つを取得・受験し、出願期間内に得点・成績または予想点・予想成績（predicted scores/grades）を提出してください。<br>※指定する統一試験・資格の一覧、また要件についての詳細は、以下に記載する UTokyo |

| | |
|---|---|
| | College of Design のウェブサイトおよび2026 年９月頃に公表予定の募集要項を参照してください。対象となる統一試験・資格は、募集要項公表時に追加される可能性があります。<br>※取得から５年未満の試験成績・資格を受理します。取得から５年以上が経過しており、指定する試験または資格の受験・取得および結果の提出を出願期限までに行えない場合は、2026 年９月 25 日（金）17 時 00 分（日本時間）までに、以下に記載する問い合わせフォームからUTokyo College of Design の入試事務室に連絡してください。<br>※Requirement 2 のうち、試験が出願期間後にしか行われない等のやむを得ない理由により最終成績を提出できない場合は、公式の予想点・予想成績を利用して出願することができます。この場合、条件付き合格の対象となります。詳細は、以下に記載するUTokyo College of Design のウェブサイトを確認してください。<br><br>【Route A ・Route B 共通】<br>東京大学が指定する英語能力検定試験（TOEFL、IELTS、ケンブリッジ英語検定、Duolingo English Test 、実用英語技能検定） のうち一つを受験し、結果を提出してください。<br>※2025 年１月１日以降に受験した英語能力検定試験の結果のみ受理します。<br>※指定する英語能力検定試験の詳細は、以下に記載するUTokyo College of Design のウェブサイトおよび2026 年９月頃に公表予定の募集要項を参照してください。<br>※Route B に限り、高等学校卒業またはそれに相当する課程の修了から遡って４年間のうち少なくとも３年間にわたり英語による教育を受けている、または受ける見込みである場合、英語能力検定試験の結果の提出が免除されます。この場合の英語による教育とは、外国語を除く全ての授業が英語で行われる教育課程を指し、英語以外の言語とのバイリンガル教育はこれに該当しません。詳細は、以下に記載する UTokyo College of Design のウェブサイトを確認してください。 |
| 選抜方法等 | Route A ・Route B の二つの出願方法を設定し、出願者はどちらか一つを選択します。同一年度内に両方の方法で出願することは認めません。<br>入学者選抜は、提出書類・資料・面接を通じた総合的評価（学力審査を含む）により実施します。提出書類・資料の内容により第１段階選抜を実施し、第１段階選抜合格者に対して、以下の第２段階選抜を実施します。<br>【Route A】個人面接を含む対面形式の選考（英語および日本語）<br>【Route B】オンライン面接（英語）<br>なお、東京大学の令和９(2027)年度一般選抜（前期日程試験）、外国学校卒業学生特別選考および学校推薦型選抜との併願は認めません。 |
| 提出書類 | 以下１～９の提出書類について、出願システム上での提出を求めます。<br><br>**1. エッセイ (Essays)**<br>エッセイ（英語） の提出を求めます。<br>**2. ビデオ課題 (Video Assignment)**<br>ビデオ課題（英語） の提出を求めます。録画・提出はすべて出願システム上で行います。2026 年 11 月 13 日（金）12 時 00 分から 2026 年 11 月 16 日（月）23 時 59 分（日本時間）までの期間に、東京大学が指定する方法にて提出してください。<br>**3. 評価書 (Evaluation)**<br>出願者の高等学校または大学において、出願者の学習能力を適切に評価できる人物（教員またはアカデミックカウンセラー、校長等） による評価書の提出を求めます。評価書の記載内容や提出方法については、募集要項に掲載します。<br>※現在高等学校等に在籍しておらず、高等学校の教員等に評価書の作成を依頼できない場合、2026 年９月 25 日（金）17 時 00 分（日本時間）までに、以下に記載する問い合わせフォームからUTokyo College of Design の入試事務室に連絡してください。<br>**4. 成績証明書 (Official School Transcripts)**<br>【Route A】<br>出願者の高等学校等に対し、文部科学省が定めた様式により作成された調査書（電子データ）の提出を求めます。<br>※高等学校等が調査書を発行できない場合、成績証明書と卒業証明書の提出を求めます。この場合、2026 年９月 25 日（金）17 時 00 分（日本時間）までに、以下に記載する問い合わせフォームから出願者本人がUTokyo College of Design の入試事務室に連絡してください。<br>【Route B】<br>高等学校等が発行した成績証明書（電子データ）の提出を求めます。 |

| | |
|---|---|
| | **5. 統一試験・資格の結果（Standardized Tests/Qualification s Results）**<br>【Route A】<br>大学入学共通テスト出願サイトのマイページで入手した「成績請求チケット（国公立総合型選抜用）」の提出を求めます。提出方法については、出願者に対して 2026 年 12 月中旬に UTokyo College of Design の入試事務室から通知します。なお、UTokyo College of Design においては、「チケット方式」を利用します。<br>【Route B】<br>東京大学が指定する統一試験または資格のうち一つの得点・成績、あるいは公式の予想点・予想成績の提出を求めます。<br>**6. 英語能力検定試験の結果（English Proficiency Test Scores）**<br>東京大学が指定する英語能力検定試験の結果の提出を求めます。<br>**7. 卒業（見込）証明書（Certificate of（Expected）Graduation）【※Route B のみ】**<br>高等学校等の卒業証明書（2027 年８月 31 日までに卒業見込みの場合は卒業見込証明書）の提出を求めます。<br>※国際バカロレアやアビトゥア、バカロレア等の資格を取得済みの場合は、あわせてディプロマを提出してください。<br>※高等学校等の卒業（見込）証明書が発行できない場合、2026 年９月 25 日（金）17 時 00 分（日本時間）までに、以下に記載する問い合わせフォームから UTokyo College of Design の入試事務室に連絡してください。<br>**8. 課外活動や学習成果を証明する資料（Supporting Evidence of Extra-Curricular Activities or Academic Achievements）**<br>自身の人物像や興味・関心、価値観についての情報として、課外活動または学習成果に関する３件の説明文（英語・各 100 語以内）の提出を求めます。対象となる活動・成果は、出願者が自由に選択できます。例として、クラブ活動、趣味、優れた学習成果、ボランティア活動、地域活動、受賞歴、資格取得、研究活動、創作活動、展示、コンテスト、就業経験、メディア取材、その他関連する経験や活動等が挙げられます。あわせて、各説明文の内容を証明する資料（説明文１件につき１点）の提出を求めます。<br>**9. 学校要覧（School Profiles）**<br>中等教育の最後の３年間に在籍した学校について、ウェブサイトの URL やパンフレット等の提出を求めます。提出は必須ではありませんが、可能な限り提出することを推奨します。<br><br>※提出書類の一部を英語で提出できない場合、英語に翻訳した書類を原本に添付して提出してください。翻訳した書類には翻訳者の所属と役職を明記してください。ただし Route A に限り、出願者以外によって作成された書類（評価書、調査書、課外活動や学習成果を証明する資料、学校要覧）は日本語での提出が可能です。<br>※翻訳した書類を提出する場合は、高等学校等の教職員や公的機関により翻訳されたものを提出してください。出願者自身による翻訳は認めません。 |
| 出願期間 | 2026 年 10 月 15 日（木）９時 00 分から 11 月５日（木）17 時 00 分（日本時間）まで<br>※出願期間内に提出されたもののみ受理します。 |
| 面接実施日 | 【Route A】<br>2027 年２月 15 日（月）、16 日（火）のいずれか１日を指定します。<br>※東京大学の駒場キャンパス（予定）にて、個人面接を含む対面形式の選考を終日実施します。<br>【Route B】<br>2027 年１月 13 日（水）から１月 22 日（金）までの期間で１日を指定します。<br>※オンラインで 30 分程度の個人面接を実施します。 |
| 合格者発表日 | ● 第１段階選抜合格者発表・通知<br>【Route A】<br>2027 年２月 10 日（水）<br>【Route B】<br>2026 年 12 月 22 日（火）<br>● 最終合格者発表・通知（※Route B は条件付き合格を含む）<br>【Route A ・Route B 共通】<br>2027 年２月 20 日（土） |
| その他 | UTokyo College of Design の詳細及び募集要項は、以下のウェブサイトに掲載します。<br>https://design.adm.u-tokyo.ac.jp/jp/<br>UTokyo College of Design 入試事務室への問い合わせフォーム：<br>The University of Tokyo - College of Design Application Inquiry Form |

別紙７

## 令和９(2027)年度 UTokyo College of Design入学者選抜の<br>大学入学共通テストの利用教科・科目について

● **パターン１、パターン２のどちらか一つを選択してください。**
● **１科目でも受験しなかった場合には、選考の対象外となります。**

(1) パターン１（６教科８科目又は７教科８科目〔配点合計 1000 点〕）

| 教　科 | 科　目 | 科目選択の方法 | 配　点 |
|---|---|---|---|
| 国　語 | 『国語』 | 必　須 | 200 点 |
| 地理歴史 | 『地理総合，地理探究』<br>『歴史総合，日本史探究』<br>『歴史総合，世界史探究』 | 左の５科目のうちから２科目を選択<br>ただし、『公共，倫理』及び『公共，政治・経済』の２科目を選択することはできません。公民から１科目選択する際は、地理歴史から１科目選択してください。 | 200 点 |
| 公　民 | 『公共，倫理』<br>『公共，政治・経済』 | | |
| 数　学 | 『数学Ⅰ，数学 A』 | 必　須 | 200 点 |
| | 『数学Ⅱ，数学 B，数学 C』 | 必　須 | |
| 理　科 | 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』<br><br>『物理』<br>『化学』<br>『生物』<br>『地学』 | 左の基礎を付した科目を選択（４つの出題範囲から２つを選択解答）<br>ただし、「基礎を付していない科目」を２科目選択した場合には、「基礎を付した科目」を選択したものとみなします。(注 1)<br>なお、理科の時間において「基礎を付した科目」を含め２科目選択した場合は、第１解答科目の成績を合否判定に利用します。(注 2) | 100 点 |
| 外国語 | 『英語』(注 3) | 必　須 | 200 点 |
| 情　報 | 『情報Ⅰ』 | 必　須 | 100 点 |

(注 1)
(1)「基礎を付した科目」とは、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を指します。
(2)「基礎を付していない科目」とは、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』を指します。
(3) 第１解答科目として、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』と、第２解答科目として、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の４科目の中から１科目を選択した場合には、「基礎を付した科目」を利用します。（注２も参照のこと）
(4)『物理』、『化学』、『生物』、『地学』の４科目の中から２科目選択した場合には、合計得点を１科目分に換算して利用します。なお、「基礎を付していない科目」を選択した場合の教科・科目の合計数は、６教科９科目又は７教科９科目となります。

(注 2)
「理科」の試験時間に２科目を受験した場合において、前半の 60 分間で解答した科目を第１解答科目、後半の 60 分間で解答した科目を第２解答科目といいます。(詳細は、大学入試センターWeb サイト https://www.dnc.ac.jp/等を参照してください。)
なお、「理科」の試験時間において「基礎を付した科目」と、「基礎を付していない科目」のいずれかを選択する場合には、「基礎を付した科目」を第１解答科目にて選択してください。たとえ、第２解答科目で「基礎を付した科目」を受験しても本学が指定する科目を受験したことになりません。

(注 3)
外国語の『英語』は「リーディング」100 点満点および「リスニング」100 点満点を利用します。

(2) パターン２（６教科８科目〔配点合計 1000 点〕）

| 教　科 | 科　目 | 科目選択の方法 | 配　点 |
|---|---|---|---|
| 国　語 | 『国語』 | 必　須 | 200 点 |
| 地理歴史 | 『地理総合，地理探究』<br>『歴史総合，日本史探究』<br>『歴史総合，世界史探究』 | 左の５科目のうちから１科目を選択<br>なお、地理歴史及び公民の試験時間において２科目を受験した場合には、第１解答科目の成績を合否判定に利用します。(注１) | 100 点 |
| 公　民 | 『公共，倫理』<br>『公共，政治・経済』 | | |
| 数　学 | 『数学Ⅰ，数学Ａ』 | 必　須 | 200 点 |
| | 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』 | 必　須 | |
| 理　科 | 『物理』<br>『化学』<br>『生物』<br>『地学』 | 左の４科目のうちから２科目を選択 | 200 点 |
| 外国語 | 『英語』(注２) | 必　須 | 200 点 |
| 情　報 | 『情報Ⅰ』 | 必　須 | 100 点 |

(注1)

「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において、前半の60 分間で解答した科目を第１解答科目、後半の60 分間で解答した科目を第２解答科目といいます。（詳細は、大学入試センターウェブサイト https://www.dnc.ac.jp/ 等を参照してください。）

(注２)

外国語の『英語』は「リーディング」100 点満点および「リスニング」100 点満点を利用します。

## 参考

### 令和 10(2028)年度以降の東京大学入学者選抜の実施方法等について

令和 10(2028)年度以降の本学入学者選抜（学校推薦型選抜を含む）の実施方法等について変更等がある場合は、本学ウェブサイト等で随時発表します。詳細については、下記 URL を参照してください。

URL　https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/index.html

※ UTokyo College of Design（2027 年 9 月開設予定）については、下記 URL を参照してください。

URL　https://design.adm.u-tokyo.ac.jp/jp/

## ○入学者募集要項等の入手方法

### １　入学者募集要項

一般選抜の募集要項は、令和 8(2026)年 11 月中旬に次のウェブサイトに公表しますので公表後にダウンロードしてください。

・一般選抜 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/undergraduate/e01_06_01.html#zenki

学校推薦型選抜及び外国学校卒業学生特別選考の募集要項は、次のウェブサイトからダウンロードしてください。

・学校推薦型選抜 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/undergraduate/e01_26.html
・外国学校卒業学生特別選考 https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/undergraduate/e01_02_04.html

UTokyo College of Design の募集要項は、令和 8(2026)年 9 月頃に次のウェブサイトに公表予定です。

・UTokyo College of Design https://design.adm.u-tokyo.ac.jp/jp/

### ２　大学案内

郵送を希望する場合は、以下の１）、２）のいずれかの方法で請求してください。
なお、東京大学から直接郵送は行っていません。

#### １）　「テレメール」による請求

(1)　テレメールのサイトにアクセスしてください。

| | |
|---|---|
| インターネット | https://telemail.jp/<br>※なお、東京大学ウェブサイト（https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/admissions/undergraduate/e01_02_03.html ）からのリンクによってもアクセスできます。 |

(2)　請求する資料請求番号（6 桁）を入力します。
※バーコードを読み取りアクセスした場合及び東京大学ウェブサイトからアクセスした場合は、資料請求番号の入力は不要です。

| 資　料　名 | 資料請求番号 | 料金（送料含）(注) | 発送開始日 |
|---|---|---|---|
| 大学案内 | 562472 | 250 円 | 7 月中旬 |

(注) 料金（送料含）のほか、別途払込手数料が必要です。

(3)　あとはガイダンスに従って登録します。

注意事項

・資料は通常、発送日からおおむね 3～5 日でお届けできます。土曜・日曜・祝日をまたぐ場合はお届けが遅くなる場合があります。また、地域や郵便事情によってはお届けに 1 週間程度要する場合があります。なお、16 時までの受付は当日発送、16 時以後の受付は翌日発送となります。
・随時発送の資料が 1 週間以上（予約受付の資料は発送開始日から 1 週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
・料金（送料含）は、届いた資料に同封されている支払方法に従い、資料到着後 2 週間以内に表示料金を支払ってください。支払い時に手数料としてコンビニ払い、スマホアプリの請求書支払い（PayPay 請求書払い、au PAY 請求書支払い）は 118 円。携帯キャリア払い、PayPay、クレジットカード払いは 30 円別途必要です。1 回分の手数料で複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
なお、料金（送料含）は資料の重量増減により変更になる場合があります。
・「入学者募集要項（前期日程）」はテレメールによる冊子（紙媒体）の印刷・発送サービスがあります。

問合せ先

テレメールカスタマーセンター　電話 050-8601-0102（9:30～18:00）

## ２）　「モバっちょ」による請求

急を要する場合は宅配便の利用も可能です。
携帯電話、スマートフォン、パソコンから請求できます。
【URL】https://djc-mb.jp/u-tokyo3/

| 資　料　名 | 料金（送料含）(注) | 発送開始日 |
|---|---|---|
| 大学案内 | 250 円 | 7 月中旬 |

(注) 料金（送料含）のほか、別途支払手数料が必要です。
※料金は変更する場合があります。
【料金の支払方法】
（1）請求時払い
携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いが可能です。（支払手数料が別途 50 円必要。）
※携帯電話・スマートフォンの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払うことができない場合があります。その場合は、コンビニ後払いを選択してください。
（2）後払い
資料到着後、コンビニで支払います。（支払手数料が別途 126 円必要。）

問合せ先
モバっちょカスタマーセンター　電話 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

## ３）　大学に直接訪問して受領する場合

交付場所
本郷地区キャンパス：正門、伊藤国際学術研究センター門、農正門、
生協第二購買部、生協書籍部
駒場Ⅰキャンパス：正門、生協購買部

○　大学情報については、以下のサイトをご覧ください。

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/index.html

本学ウェブサイト。大学全般の情報を発信しています。

キミの東大
UTokyo, your university

東京大学をもっと知りたい高校生・受験生のためのサイト。

https://kimino.ct.u-tokyo.ac.jp/

○　入学者選抜等に関する照会先

電子メール　nyuusi1.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp　（一般選抜）

nyuusi2.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp　（外国学校卒業学生特別選考）

nyuusi3.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp　（学校推薦型選抜）

問合せフォーム　https://design.adm.u-tokyo.ac.jp/jp/contact/（UTokyo College of Design）

郵　便　〒113-8654 東京都文京区本郷７丁目３番１号
東　京　大　学　入　試　事　務　室
※　照会は、志願者本人が行ってください。